

栄区囲碁普及会 上達コース認定会での対局時計の扱いについて

(1) 1級戦

- ・時計を最初から使う。
- ・各対局者の持ち時間30分に設定した時計を審判員が見やすい机の中央部分に置かれるように黒番と白番の席を決める。
(白番の人が対局時計の置く位置を決める。その結果に基づいて対局時計が中央部に置かれるように黒番と白番の席を決める)
- ・対局者が時計のボタンを押し忘れている場合、審判員或いは対局者間による指摘は可とする。
- ・**審判員は時間内に終局するように適宜促す。**
- ・時間切れが発生した場合はその時点で時間切れの対局者が負けになる。

(2) 1級戦以外

- ・時計を最後まで使わない
- ・審判員は対局開始後**30分、40分、50分後**に1時間以内に終わらないと判断した場合は「このままでは時間内に終了しないので、もう少し速く打って下さい」と対局者に注意する。
なお、一方的に時間を多く使っている対局者がいた場合は、その対局者に注意する。
- ・上記注意をしても時間内に終局しなかった場合は、審判員は終了時間に対局を止めて、審判員又は審判長がその局面で形成判断して勝敗を判断する。
必要ならば審判員又は審判長が終局状態を作り勝敗を決定する。